

ふくおか げん こと 減CO2自慢 大作戦 2009 報告集



環境省委託事業 福岡県地球温暖化対策

目次

3. ふくおか減CO2自慢大作戦とは？
4. 最優秀賞 5校区スーパー4店舗レジ袋削減作戦チーム会
6. 銀賞 福岡県立宗像高校 家庭クラブ
7. 銅賞、九州地方環境事務所長特別賞 トータルケア・システム株式会社
8. 地域貢献賞 若松秋桜会
減CO2リサイクル賞 (株)プラテクノマテリアル
9. 減CO2ドライブ賞 株式会社 福商運輸
自然再生ピオトップ賞 福岡県立遠賀高等学校
10. 減CO2スクール賞 福岡県立柏陵高校
減CO2先生賞 福岡雙葉中学校
11. 減CO2技術賞 株式会社 黒 木
減CO2アクション賞 西日本旅客鉄道(株) 新幹線管理本部 博多総合車両所 エコ新幹線
12. 減CO2リサイクル賞 (株)京屋 朝倉オフィス
奨励賞
13. 奨励賞 福岡県エコ事業所取組結果(抜粋)
14. 「ストップ温暖化『一村一品』大作戦 全国大会2010」出場団体
15. 「ストップ温暖化『一村一品』大作戦 全国大会2010」受賞者
福岡県代表 優秀賞



ふくおか減CO2自慢大作戦とは?



「なんとかせんと いかんばい!」と思って、地域で取り組んでいる皆さん!
その取組を県内に、日本国内に広め、地球温暖化にSTOPをかけませんか。

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素 (CO₂) を減らす取り組みであれば、
個人・企業・団体・自治体など、福岡県内に住所や所在地があれば、どなたでも応募できます。
ただし、植林や緑化のみの取組は対象外です。

応募のあった取組は、県民に広く紹介し、さらに県代表は全国大会で発表できます。
あなたの取組をアピールするチャンスです。
是非、ご参加くださいと募集を開始しました。

| | | | | | | |
|----------|-------|--------|---------|------------|----|----------|
| 主なスケジュール | 6月-8月 | 取組の募集 | 8月 | 取組の申請 | 8月 | 県代表候補の選出 |
| | 11月 | 県代表の選出 | 10月-12月 | 県代表等の取組の普及 | 2月 | 全国大会参加 |

21年度 ふくおか減CO2自慢大作戦実行・選考委員

実行・選考委員会名簿 ○:委員長

| 氏名 | 所 属 |
|----------|--|
| 蓼原 典明 | NPO法人えふネット福岡 |
| 中原 隆一 | 西日本新聞社 |
| 久富 洋一 | 九州電力(株) |
| 久留 百合子 | (株)ビスネット |
| ○教授 二渡 了 | 北九州市立大学大学院 国際環境工学研究科環境工学専攻 環境マネジメントコース |
| 諸藤 見代子 | 環のまなび工房 |
| 教授 依田 浩敏 | 近畿大学 産業理工学部 建築・デザイン学科 |
| 高木 宣弘 | 福岡県環境部環境政策課 |

最優秀賞

地域ぐるみで、マイバッグ 持参率100%大作戦！

「小さな」バッグで「大きな」エコ。

団体の部 5校区スーパー4店舗レジ袋削減作戦チーム会

キーワード

「地域」「共働」「マイバッグ」

取組の概要

地域内の系列の違うスーパー4店舗、5つの小学校区の地域コミュニティを中心とする地元住民、行政が共働し、レジ袋の削減のため、マイバッグ持参を推進する普及啓発を地域住民に対して実施。地域ぐるみで、取組んだ結果、マイバッグ持参率が、取組開始後の10ヶ月で46%から56%へと10%も上昇しました。

このマイバッグ持参運動を行うことで、レジ袋が散乱ゴミとして特に十郎川に溜まっていたり、風の強い日はレジ袋が舞っている状況に気付くことができ、河川の清掃活動を行いました。この取組は、CO₂削減だけでなく地域の環境も守る取組のひとつと実感することができました。

福岡市西区役所のボランティア講座受講生には、自治会役員や、子供向けにおもちゃのリユース活動「かえっこバザール」及び、生ごみ堆肥化を普及している団体などがあり、マイバッグ持参運動以外にも受講生による活動が活発に行われています。マイバッグ持参は、最初の「気づき」であり参加意識をもった住民の次なるステップも用意されています。

マイバッグ持参は、ひとりでも出来る取組ですが地域で取り組めば、「小さな」バッグで「大きな」エコにつながると思います。





家庭で使用していないエコバッグ提供のお願い



小中学生を対象としたエコバッグの使い方教室

貸し出しエコバッグ

「貸し出しエコバッグ」は、
 地域で共有するエコバッグです。
 下記の協力店舗であれば、どのお店で借りても
 どのお店で返却しても構いません。
 お気軽に利用して、
 地域にエコバッグの輪を広げましょう。

**「貸し出しエコバッグ」は
 ご自由にお使い
 いただけます**

※返却はいつでもOK!

**協力店舗なら、
 どのお店でも
 ご返却いただけます**

| | | | |
|----------|---------|-----------|--------|
| エココア上山門店 | サニー下山門店 | マルキョウ下山門店 | サニー藤原店 |
| | | | |

協力：城東・下山門・西原・石丸地区、福岡市西区役所

講 評

レジ袋について、有料化やポイント制など各店舗で独自に実施している中、ある店舗が、その店舗の都合で始めるのではなく、地域住民等の協力を求める活動を始めたことがきっかけとなり、隣接する地域や他系列のスーパーまで巻き込んだ活動へと発展させた。取組開始してから10ヶ月で削減効果を上げているだけでなく、啓発イベントを開催したり、さらなる地域連携を進めている事も評価となった。また、この取組の下地には、福岡市西区役所が6年間続けている環境ボランティアの育成講座がある。その受講生は、行政に頼らず、皆で助け合い、解決していく姿勢で、環境に関する普及啓発に大変熱心である。今回の取組にも受講者同士の連携・協力体制があったために、速やかに進めることが出来た。他市町村でも環境ボランティア育成を行っているが、育成後の活動の場で行き詰まっているケースが多い中、比較的容易に始められる地域コミュニティ活動の見本となるモデルケースと言える。



銀賞

宗高、 エコスクール大作戦

宗高から地域・家庭へ、エコ活動発信中

学校の部 福岡県立宗像高校 家庭クラブ

キーワード

環境・地域・ボランティア精神

取組の概要

- 新入生オリエンテーションで環境型校舎、太陽光発電設備や透水性アスファルト等の設備のプレゼン
- 校内に環境に関するポスター（節電、教室内点灯の点け分け、分別回収、割り箸回収、レジ袋のReduce活動）の掲示
- 12月に地元農家「みそ汁キャラバン隊」を講師に、地産地消のテーマで地元の食材を使った料理講習会を開催。
- 一年を通し、全校で使われる割り箸を毎日、古紙を年4～5回収。
- 日々の学校生活で節電を積極的に取り組む（教室の電灯の点け分け・消灯。エアコンの不要時のスイッチOFF、温度設定の配慮等
- 調理実習で出る生ゴミを段ボールコンポストにて処理。



講評

- ・高等学校として多様な活動内容。新たな取組（ダンボールコンポスト）も始めており、家庭への拡がりも期待できる。
- ・みそ汁キャラバン隊がグッドアイデア。
- ・学校全体の取り組みとして評価できる。
- ・話し方が元気でとてもいい。ガンバレ家庭クラブ！
- ・プレゼンテーションでは、一番の成績でした！



古紙の分別の様子

銅賞、九州地方環境事務所長特別賞

紙おむつ リサイクルシステム

紙おむつを水溶化処理し、パルプやプラスチック素材等を回収し再利用を行う。

企業の部 トータルケア・システム株式会社

キーワード

高齢化社会と地球環境

取組の概要

医療機関、福祉施設等で使用された紙おむつを販売業者が回収し、本事業の水溶化処理施設へ搬入します。搬入された紙おむつを水溶化しながら素材を分離し回収します。回収したパルプ等は建築資材として防火版等の原料に、プラスチックはRPF固形燃料に、汚泥はコンポストとして緑農地へ還元する等のリサイクル事業です。本事業には、製造者、販売者、排出者、プラント会社等、関連する立場の企業が出資を行い、共同して資源循環型社会の形成を目指しています。排出者である病院、福祉施設には、排出量（年間処理量）に応じてCO₂の排出削減量を数値化し報告を行っています。市場の70%以上を占める子供用紙おむつと在宅介護等で使用する大人用紙おむつを同様にリサイクル化するため、自治体（大木町）の協力を得てモデル地区とし、分別、回収の在り方、社会システムの在り方、広報活動の在り方、処理技術の向上等をテーマに産官学の関係者によるプロジェクトを立ち上げ検証に取り組んでいます。

講評

- ・紙おむつリサイクルの活動が主。活動の発展性(回収量の拡大)が課題となる。
- ・高齢者支援として大切だ。
- ・地域社会の課題の解決を評価した。
- ・焼却しない紙おむつ処理という発想が素晴らしい。社会貢献と社会的責任を同時に本業で達成する事を目指している。
- ・社会的に必要な事業。全国的にモデル化の動機付け。
- ・全国でここだけというのは素晴らしい。
- ・社会システムの提案は素晴らしい。



地域貢献賞

輝く未来は今、ここから私から

身近なことから、できることから、
無理をせず無駄をなくすエコライフに。

団体の部 若松秋桜会

取組の概要

- ・使用済のペットボトルで風車作りを小学生4,5年生を対象に指導。
- ・小学校での環境教育の場であり、3Rの話、地球温暖化の問題も子供達とキャッチボール式に話し合う。
- ・地域の川（遠賀川の堀川再生事業）のプロジェクトの一端を担っている。
- ・今年で6年目の取り組み、毎年9月に12校～13校に出向いている。
年間通して各地域の市民センターでの講座を実施している。

減CO2リサイクル賞

ペットボトルキャップのマテリアルリサイクル

ペットボトルキャップのマテリアルリサイクルの
促進によりCO2削減、途上国へワクチンの寄与を行う。

企業の部 (株)プラテクノマテリアル

取組の概要

エコキャップ推進活動（ペットボトルキャップを集め、途上国へワクチンを送る）のなか、弊社独自の取り組みとして、キャップの色分け、粉碎原料化、ミニプランター他の製造販売を通し、CO2削減、国際貢献、社会貢献を子供、企業、団体、一般まで目に見えるかたちにし、キャップリサイクルの促進している。

ボトルキャップは色分けする事で、色々な製品にリサイクルする事が可能となった。



ボトルキャップの色分け